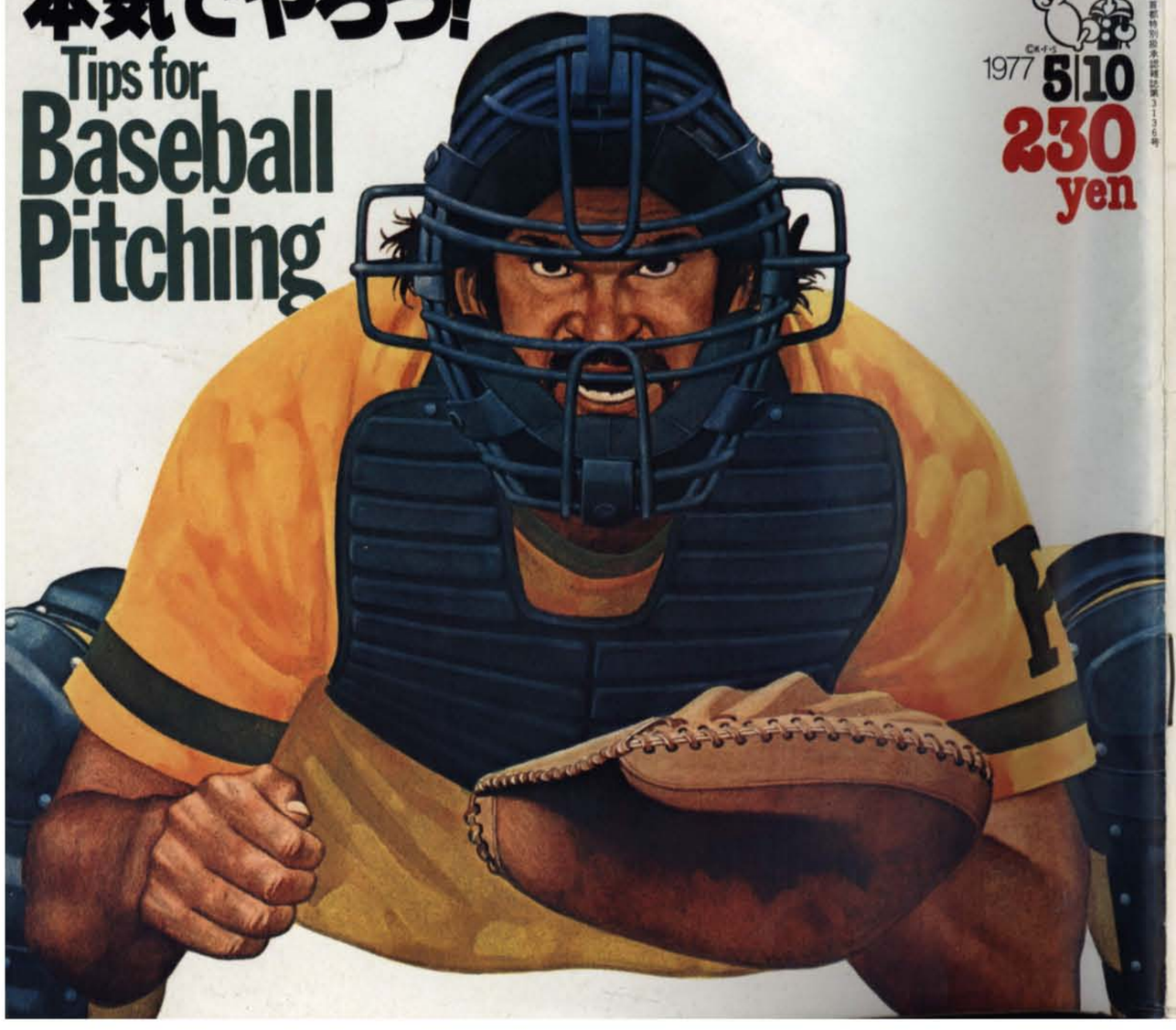
POPEYE

Magazine for City Boys ポパイ

ベースボールを本気でやろう!

Tips for Baseball Pitching



1977 5|10

230 yen

昭和52年5月10日発行（毎月二回10日／25日発行）第2巻第4号 昭和52年3月8日 国鉄首都特別扱承認雑誌第3136号

POPEYE 6

〈ポパイ〉5月10日号 昭和52年5月10日発行（毎月二回10日・25日発行）第2巻第4号 編集人・木滑良久 発行人・窪田幸茂 〒104 東京都中央区銀座3-13-7 平凡出版株式会社 ☎東京541-3211（代表） 定価230円

雑誌 7132—5/10

はくだけでスキッと背すじが伸びるヒールアップ。これなどいかにもカナダ生まれのポニーシューズらしい特長です。はきやすさ、強さに加え、緻密な人間工学に基づいてつくられている…。生活の中にスポーツを、という私たちの考えの結果です。

LET'S TRY JOGGING

いま、新登場
ストロングなポニーシューズ。
新鮮な感覚で、いまポニーから。
ポリウレタンの軽く、とびきり丈夫なソール、
アッパーはベロアを使用… やわらかい
足あたりです。とくに強調したいのは
その強さ。毎日走り込んでも…、
期待に十分応える耐久力を発揮します。

PU602
ポニーピーユー602
●サイズ:24.0cm～27.0cm
●カラー:ベージュ/茶・緑/白・白/黒 ¥5,600

大好評の機能性。
ヒールアップはもちろんのこと、
かかと部分のパッドライン、ソフトな
アッパーなど、徹底的に機能性を追求。
美しいシェブロンラインがひきたつ、
ジョギングシューズの決定版です。

DELPHIN 503
ポニーデルヒン503
●サイズ:22.5cm～27.0cm
●カラー:白・オレンジ・緑・赤・緑 ¥4,300

DELPHIN 801
ポニーデルヒン801
●サイズ:22.5cm～27.0cm
●カラー:白・コンビ・白/ゴールド・白/茶・白/赤・白/緑・白/黒・黒/ゴールド
¥4,800

カナダ生まれのポニー
PONY®
Designed in Canada
世界長株式会社
西宮市津門大箇町8番39号〒663

意匠登録第429624号

© 平凡出版株式会社 Printed in Japan, 1977

People

I Love FRISBEE

軽く投げて なんと98ヤード!

90メートル

MONIKA LOU

モニカ・ルー(19)

日本では、このフリスビー、まだまだ〝遊び〟としてとらえられているが、本場アメリカでは立派なスポーツなのだ。そこでこのモニカ嬢に登場ねがって、遠投競技の必勝法を伝授してもらった。なお蛇足ながら彼女、この種目の女性レコード・ホルダーなのだヨ。

PHOTO BY MASAO MIYAYASU

とび出せ! 新人劇画作家 カム・オン! シンガー・ソングライター

POPEYE | クロワッサン 創刊2記念 大募集!

世界中が『新しい星(スター)』の出現を待っているのだ!

第1回オリジナル・ソンググランプリ

入賞1名(1組) 100万円

加山雄三、小椋佳、吉田拓郎、松任谷由実、丸山佳子、因幡晃、井上陽水、宇崎竜童、南こうせつ、風、アリス、バンバンなど、近年のレコード界では〝シンガー・ソングライター〟という活躍ぶりが話題となっています。

そこで平凡出版では「オリジナル・ソング・グランプリ」を設定し、ニッポン放送後援のもとに、新界の明日をになう有望な新人を募集します。プロシンガーになりたい、というあなたの夢と希望が実現できるまたとないチャンス。左記の応募規定をごらんのうえ、ふるってご応募ください。

■応募規定

●性別、プロ、アマ、個人、グループを問いません。

●作品は、未発表でレコード化されていない自作の曲(共同制作でも可)に限ります。

●応募は1人(1組)1曲に限り、歌唱テープ(カセット、オープンリール・19cm/2トラックどちらでも可。新品使用のこと)に楽譜をそえてお送りください。題名、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記、グループの場合は、個人名にパートを添記してください。

●最近撮影の写真(上半身・手札以上)の裏に氏名、身長、体重を明記して同封してください。

●あてさき 〒104 東京都中央区銀座3—13—7 平凡出版株式会社「オリジナル・ソング・グランプリ」係

●しめきり 6月15日消印有効。

●発表 8月下旬発売の「平凡」「週刊平凡」「平凡パンチ」「ポケットパンチ」「Oh!」の5誌、および別冊、増刊号。

■審査方法

まず、入賞3曲を選び、それをラジオ放送し、聴取者投票と、審査員採点とを総合して賞を決定します。詳しくは、ラジオ「平凡アワー」「パンチ・パンチ・パンチ」「オールナイト・ニッポン電話リクエスト」の番組、および誌上でお知らせします。

■賞

「オリジナル・ソング・グランプリ」……1名(1組)賞金100万円

「オリジナル・ソング賞」……2名(2組)賞金 各10万円。

■審査員

平尾昌晃、森田公一、みなみ・らんぼう、宇崎竜童、平井賢、平凡出版編集局、ニッポン放送音楽ディレクター。

■注意

●未成年の入賞者は、親権者の承諾書が必要です。

●応募作品、写真はお返しいたしません。

●入賞曲の著作権は主催者が保有、管理いたします。

●作品はレコード化の際、補作、変更する場合があります。

■主催/平凡出版株式会社

後援/ニッポン放送

第1回平凡劇画賞

入選作1篇につき 100万円

あなたも劇画作家になりませんか! 平凡出版では、このほど劇画界に新風を吹きこみ、あわせて有望な新人を育成するために「平凡劇画賞」を設定しました。プロフェッショナルの劇画家をめざすあなたにとっての登竜門です。

左記の応募規定をごらんのうえ、ふるってご応募ください。

■部門

時代、アクション、ギャンブル、学園、青春、冒険、SF、コミカル、戦記、ビジネス(サラリーマン物)の各ジャンルに分けて入選作を選びます。「佳作」を設けることもあります)

■応募規定

●資格——プロ、アマチュアを問いません。1人何篇でも応募できます。(グループ参加も可)

●内容——ストーリーの面白い中篇劇画。

●型式——30ページ~40ページ。

●寸法——1ページにつき、タテ220mm、ヨコ155mm、倍率は1.2倍。

●書き方——白いケント紙に黒インクで書いてください。作品の第1ページの裏に次の事項を記入してください。

○住所 ○氏名 ○年齢 ○職業 ○電話番号 ○ペンネーム

○商業雑誌に作品発表の出無(発表の場合、その誌名、題名、発行年月日)

●あてさき 〒104 東京都中央区銀座3—13—7平凡出版株式会社「平凡劇画賞選考委員会」

●しめきり 7月31日消印有効

●発表 9月下旬発売の「月刊平凡」「週刊平凡」「平凡パンチ」「ポケットパンチ」「Oh!」およびその別冊、増刊号。

■審査委員

●選考委員作家——石森章太郎、梶原一騎、小池一夫、さいとう・たかを、牧美也子、赤塚不二夫(順不同)

●平凡出版選考委員——前記5誌の各編集長。

■賞

各部門ごとの入選作1篇につき、賞金100万円。入選作は、前記5誌および、別冊、増刊号に掲載する予定です。

■注意

●応募作品は、ストーリーも絵も未発表のオリジナル作品に限ります。

●応募作品は返却しません。選考のお問い合わせはご遠慮ください。

●入選作、および佳作の著作権等、その他いっさいの権利は、平凡出版株式会社に帰属します。

■平凡出版株式会社■

モニカの力強いフォームを見てほしい。手をストレートに伸ばし、時計のフリコのように肩いっぱいに振り出す。もちろん腰のためも充分にとること。このことはパッティングなどとも共通だ。そして上の写真のように、腕を直線的に振っていき、リリース地点で確実に離すこと。このとき手首と腕は真直になっていなければならない。つまりスナップはこの時点できかせておくということなのだ。あとのフォロー・スルーもしっかりとすることを忘れないで。なお、遠投競技では、ファウル・ラインを越えると失格するので注意を。それではフリスピーを手に外へ

➡この体勢に入る前に、10～15メートルの、走りには欠かせない助走がある。この写真はフィニッシュに入ってからの型だ

彼

女、モニカ・ルーの肩書は、プロフェッショナル・フリスピー・プレイヤーというもの。これは、とても大変なことで、女性では世界広しといえど、彼女ただひとりなのだ。事実、学校でフリスピーを教えることで生計をたてている。アメリカの学校では、フリスピーは体育のエキササイズのひとつなのだ。このあたりにも日本とアメリカのフリスピーに対する考え方の相違があるみたい。むこうでは市民権を獲得している、立派なスポーツなのだ。

6年前の夏、家の近くの公園に遊びにいったモニカが目にしたフリスピーが、それも今にしてみれば何とも幼稚な遊び程度だったのだけど、彼女の人生に大きな影響を与えようとは、誰が想像しただろうか。以前から体操とかフェンシングとかカラテといったスポーツに精通していた彼女にとって、フリスピーもかなりお気に入りのスポーツとなったのだ。

もともとチーム・プレイ中心の団体競技よりも、彼女の性格としては、個人競技の方が合っているらしい。だからここで紹介する《遠投競技》とか《MTA》（マキシム・タイム・アロフトという滞空時間を競い合うゲーム）を得意としている。ま、どれだけ得意としているかというと、タイトルにあるような記録を持っているし（キミ、この90メートルというのがどれだけすさまじいものかは、フリスピーを投げたことのある人なら、脱帽ものなのだヨ）、76年のローズ・ボウル（これはフリスピーの世界大会のこと）では優勝しているのだ。

NO・61を選べ！

ディスタンス競技で最も大切なことは、フリスピーの風に対するアングルを知ること。つまり、バックハンドの場合、フリスピーはネガティブでノーマルの状態に飛ばすこと。て、こういってもチョット分らないだろうから説明すると、風をフリスピーの内側に入れるように前方に傾けることがネガティブ、カーブしないように地面と30度ぐらいの角度をつけたポジションがノーマルというのだ。このふたつの位置を頭に入れてショットすれば、まっすぐに飛んでいくはず！

モニカは、基礎トレーニングとして、心臓や筋肉の鍛練のため、水泳やサイクリングを行なっている。しかし、ジョギングやランニングはヒザを痛めるという説を信じているため、あまり行なわないという。ポパイとしては少しガッカリ。

あ、それからディスタンスでもうひとつ重要なことを彼女は教えてくれた。それはフリスピー自体のことで、〝スーパー・プロ〟でもNO・61をチョイスすることだそうだ。なぜかというと、この型の方がにぎりやすく、力を入れやすいということ。このフリスピーは日本でも入手しやすいのでトライしてみる手だ。そして練習したうえで、モニカ・ルーの記録に挑戦してみたら……。

モニカは合衆国生まれのスーパー中国人なのだ

I Love FRISBEE

➡モニカ考案のグリップで、名前もずばりモニカ・グリップ。ディスタンス用だけでなく、距離を飛ばすために有効なのだ。例えば、フリスピー・ゴルフなどには最適。
⬅そしてこれが、現在彼女が用いているパークレー・グリップ。パワー・グリップから発展していったこの型は、フリスピーを安定させて握るのには最もよい。エッジをはさみ込む力は、フル・スローの直前まで抜いておくこと。

➡メイ・グリップと呼ばれるこの握り方は、ボブ・メイという男性が考案した方法。特徴は第一関節でエッジをはさむところにある。親指に力を入れないとフリスピーがふらつく。モニカは72年にこれを使用し始めた。